

めざす子ども像

**やさしさとたくましさをもち、未来をきりひらく子どもの育成****「確かな学力」と「豊かな心」をはぐくむことをめざす**

取組目標

**学校が大好きで、ふるさとが大好きな都跡の子どもを育てる。****【今年度の取組紹介】**

・「本が大好き」という子どもたちが育つような工夫に取り組みました。読み聞かせは感染症対策を十分にすることで園で行いました。大学生参画事業実施校区となり、奈良教育大学から学生1名が図書整備に参加してくれました。その活動の中で、夏休みには先生方と協力して小学校図書室の書棚を移動させたり、ペンキ塗りをして、古い本棚をリメイクしたりしました。現在その本棚は、新刊本コーナーとして子どもたちに人気です。中学校では、学習にも役立つように二十四節気紹介を作成し廊下一面に掲示しました。

・中学校の環境整備では、生徒たちの水やりのおかげで、2年ぶりに恒例のゴーヤカーテンが復活し、サツマイモも大収穫となり今年もこども園へおすそわけすることが出来ました。花苗はプランターにも植えることで、正門からのアプローチが寒い冬の間にもぎやかになりました。コロナ禍で活動が制限された生徒たちのためにと七夕飾りを校内に置くことになり、地域の方たちが笹を切り出しに行きました。切り出した笹は、こども園や公民館行事にも使用され地域交流の一役を担いました。

**【今年度のまとめ】**

・活動が制限されるなかでも、読書推進と栽培体験には多くのボランティアに参加していただき予定通りの事業が実施できました。図書ボランティアのブッカー掛けや修理の技術も、新しく参加された方たちに以前からの方たちが指導されるなどして交流が生まれました。

・地域との共同開催の講演会やおまつりの事業はできませんでしたが、学校園の行事を支援する機会が多くあり、園児・児童・生徒との交流は例年よりも多く持つことが出来ました。

**【来年度に向けて】**

・年度末に発行する広報紙「みあと」、学期ごとに発行するボランティア募集のチラシには、活動した内容を掲載して地域への広報活動を継続します。学校園の入り口などには、ボランティア募集ポスターを掲示し保護者の方の目につきやすくします。

・地域との連携事業が再開された場合は、中学生も企画の段階から参加して、当日の運営をスムーズに進めたいと考えています。

・今年度作成した緑色のベストは、園校外の様々な場面でボランティアに着用していただき、赤 T シャツ着用のコーディネーターと共に子どもたちを見守っていきます。

**めざす子ども像** やさしさとたくましさをもち、未来をきりひらく子どもの育成「確かな学力」と「豊かな心」をはぐくむことをめざす**取組目標** **人を愛する心や学校・地域を愛する心を育てる**  
**地域で育つ中学生として、地域の一員としての役割をになえる子どもの育成****【今年度の取組紹介】**

- 毎年生徒たちも楽しみにしている植物の栽培活動。本校の目玉でもある「ゴーヤカーテンづくり」を2年ぶりに実施できました。夏には立派なゴーヤが収穫でき、地域の皆様や来客者にも振舞うことができました。また、みあと農園には「サツマイモ」を栽培したり、みあと花壇やプランターには多くの花を植え付けて育てたりすることができました。これらの日々の世話は『いきものがかり』が中心になって水の世話などを行いました。



- 読書推進事業では、地域コーディネーターやボランティアの方々との協働により、市の図書館司書の方がほぼ週1回のペースで来ていただくようになり、図書室の環境整備や書籍管理を行っていただいています。文芸委員が図書室開放を運営する際に役立つバーコード操作や分類ラベルの意味と整理の仕方などについての生徒向け勉強会をしていただいたり、生徒たちが多くの本との出会いが持てたりしました。校内の掲示スペースにもたくさんの掲示物を工夫して配置いただきました。

**【今年度のまとめ】**

コロナウイルス感染症の影響により、今年も様々な制限がある中でも無理なく活動できそうな取組を模索しての実施が多くなりました。生徒と地域の方々が協働して行う「みあと農園」「みあと花壇」はじめとする栽培体験活動が取組の中心でしたが、地域の方々と触れ合う機会を多く持ち、共に活動させていただきました。一昨年度から活動をスタートさせた「いきものがかり」も徐々に定着し、ボランティア参加の輪を広めながら、地域活動に積極的に参加する姿が増えてきました。多くの生徒の地域に対する理解や関心が高まり、活動を通して自分たちの学校をきれいにしていく美化意識の向上や地域の方との協働につなげることができました。

**【来年度に向けて】**

- 協議会でやっているコーディネーターやボランティアの募集活動の協力ができるよう、中学校での支援事業を中心に、学校HP等での発信にも力を入れ、よりたくさんの保護者等にも引き続き周知していきたいと思えます。
- まだまだコロナ感染状況の情勢に左右される心配はありますが、この2年間でできていない小中合同でのコーディネーターとの交流会を実現し、小学校で行われている支援事業も参考にしながら中学校での新たな支援事業を考えていきたいと思えます。

めざす子ども像

**やさしさとたくましさをもち、未来をきりひらく子どもの育成****「確かな学力」と「豊かな心」をはぐくむことをめざす**

取組目標

**世界遺産のある地域****「都跡」で暮らし、「都跡」を学び、「都跡」を誇れる児童の育成****【今年度の取組紹介】**

## ○ 平城宮跡オリエンテーリング

毎年4年生が平城宮跡歴史公園内を地域のボランティアの方々の協力を得ながらオリエンテーリングをしています。

今年度は平城宮跡歴史公園の奈良県推進事業部の方の協力もあり、より深い学習を行うことができました。半日の活動でしたが、平城宮跡のさまざまな場所を歩いて回り、それまで学習したことと結びつけながら活動しました。チェックポイントではボランティアの方々から詳しいお話をしていただき、興味をもって取り組むことができました。



## ○ 学校図書館支援事業

子どもたちが本にふれる機会をふやそうと、地域コーディネーターや図書館司書の方を中心に数多くのボランティアの方々が学校図書館の環境整備や本の整理を行っています。今年度は読み聞かせ活動を放送で行い、教職員に図書室にあるお勧めの本の紹介のポップを作成していただくなど、学校とボランティアの方々と協力し、取り組むことができました。また、コーディネーターの方には本の紹介だけでなく、選書から関わっていただきました。



図書室のポップ

**【今年度のまとめ】**

- コロナ禍の影響により、多くの活動が中止または形態を変えての実施となりました。そのなかでも地域の方々は、「子どものためなら」とか「子どもと一緒にいると元気をもらえる」と考え、できることは何かを考え、様々な場面で学校に協力してくださっています。そしてこのような情勢の中でも図書ボランティアや下校指導など、新たにボランティアを志望してくださる方も多くいらっしゃいました。教職員や子どもたちは、このような地域の方々の温かい気持ちに実際に触れることで、地域の方々の思いを知ることができたと思います。こうした地域の方々子どもたちが一緒に活動する場面が増えるよう、各活動の実施方法を検討していきたいと思っています。

**【来年度に向けて】**

- 今年度も昨年度に続き、コロナ禍の中で行事や活動の中止があり、昨年以上に「今まで通り」が通用しない1年でした。そのような中でも今まで築き上げた「子どもたちから地域の方々が見える」「教職員から地域の方々が見える」という関係を大切にしながら、地域の方々子どもたち・教職員がつながる場面を確立・拡大していきたいと考えています。

めざす子ども像

**やさしさとたくましさをもち、未来をきりひらく子どもの育成****「確かな学力」と「豊かな心」をはぐくむことをめざす**

取組目標

**みんなで遊びを創る笑顔があふれるこども園**

## 【今年度の取組紹介】

## ○ 栽培活動事業

今年度も地域の方に、年間通して、花や野菜の植え方や育て方を教えて頂きました。苗を植えた際には「どのくらいで大きくなるの?」「なんでわらを敷くの?」等、疑問に感じたことを質問し、地域の方の話を興味津々に聞いていました。毎日水やりをしながら、様子を見ては「葉っぱが大きくなってきた」「花が咲いてるよ」と変化に気づき、友達や先生に知らせる姿も多く見られる等、生長の様子や収穫を楽しむ姿がありました。



サツマイモの栽培では、収穫したサツマイモを「焼き芋にしてみんなで食べたい」という思いから、焼き芋パーティーを行いました。サツマイモを洗ったり、アルミホイルで包んだり子ども達も準備をし、焼くところは地域の方に火おこしから手伝って頂きました。子ども達は焼いている途中も「いいにおいがしてきた」「もう焼けたかな?」と楽しみに様子を見る姿があり、食べる時には「甘くて美味しい」と笑顔で食べていました。その日の午後からは「焼き芋屋さんごっこ」の遊びも始まり、子どもの心が豊かになる体験活動となりました。

地域の方が事前に畑を耕したり、苗を植えた後は何度も様子を見に来て、肥料をあげてくださったりと、見えないところでもお世話をしてくださっていることを子どもや保護者にも知らせていくことで、親しみや感謝の気持ちをもち、関わる姿につながっていきました。

## ○ 読み聞かせ事業

感染状況によりできない月もありましたが、毎月1回感染症対策を講じながらクラス毎に地域の方に絵本の読み聞かせをしていただきました。継続して実施することで、地域の方が来園してくださることを子ども達も楽しみにし、読んでくださる内容に興味や関心をもち、いろいろなお話に触れる機会となりました。



## 【今年度のまとめ】

- コロナ禍2年目で、活動内容や方法を地域の方と相談しながら、本物に触れる体験・読み聞かせ・栽培活動等に取り組みました。様々な制限がありましたが、地域、保護者と共に考え実施することで、地域の方を身近な存在と感じ、感謝の気持ちや思いやりの心が育ち、様々な体験活動を通して、豊かな心を育む機会となりました。

## 【来年度に向けて】

- 引き続き『みんなで遊びを創る笑顔があふれるこども園』を目指し、子どもたちにとって豊かな経験となるよう、感染状況を見て、対策を講じながら定着している活動を継承していくと共に、さらに内容を見直しながら、地域・保護者との連携を深め、教育・保育の充実につなげていきたいと思いをします。